

2006年度第4回 Lラーニング学習支援システム研究分科会記録

日 時：2007年2月22日（木）13:00～18:00

場 所：一橋大学（国立） 時計台棟 研修セミナールーム

出席者：阿部（東京歯科大学）佐藤（駒澤大学）小田切（麻布大学）金子（早稲田大学）
豊田（オブザーバー）池田（オブザーバー）高野（オブザーバー）田代（日本
女子大学：記録）

配布物：第4回Lラーニング学習支援システム研究分科会タイムテーブル

応用編の問題（佐藤作成）

応用編の問題（田代作成）

1. 事務連絡

阿部氏より報告。

- ・9月に応募した第7回インターネット活用教育実践コンクールについて
インターネット活用教育実践コンクール実行委員会事務局よりメールで連絡があり、2月19日（月）に開催された第2次審査委員会において、佳作に内定したとの連絡があった。新聞等公式発表は2月28日（水）の予定とのこと。

2. サーバーのレンタルについて

- ・阿部氏より協会事務局に特別助成金について問い合わせ、すでにメールで知らせたとおり回答があった。
サーバーのレンタルに使用可能だが、分科会費を使用する。
レンタルサーバーの選定を池田氏と阿部氏で検討する。

3. Moodle の検討

- 1) 池田氏・阿部氏より Moodle について確認した機能の紹介
 - ・三重大学で実践されているが、ゲスト利用は出来ないので見られない。
 - ・フォーラム荒らし対策として、ゲスト利用ではなく登録制が必要。
 - ・教員と学生が想定されているため、出題側と不特定多数の回答者を想定している当研究会のシステムとしては設定でどこまで対応できるか検討が必要。
 - ・Wiki については査読者の設定が可能。
 - ・コース内に辞書を設けて、テキストフィルター機能で自動的な辞書管理が可能。
 - ・『図書館用語辞典』を OCR でスキャンするか打ち込むか、用語は他サイトへリンクさせる。（東京理科大学など。）

2) 出題形式の想定及びそれを Moodle で実現可能か検討

- ・正解の数については、各解答の得点パーセンテージで設定可能。合計を 100%にする。
- ・Hot Potatoes 形式で作成した問題は Moodle に取り込める。
- ・用語集はツールへ入れる。XML ファイルで辞書をインポート可能。後日阿部氏が試してみる。

4. 問題の検討

1) 問題の内容について

- ・来年度の発表までという時間的な制約があるので、レファレンスのみに特化する。
- ・基礎コースの中の各トピックが、基礎編の各 Step に当たる。
- ・コアなデータベースの使い方・引き方を示し、次に小テストを用意する。
- ・ゲーム性や楽しみも必要。
- ・クリアしないと次に進めないという設定も可能。
- ・レベル別の設問を工夫する。(初級は NDL-OPAC、中級は PubMed での引き方)
- ・具体的な設問としては、応用編の問題案として配布された佐藤氏、田代作成のような傾向も可。

5. 図書館見学

一橋大学附属図書館の見学。

社会科学古典資料センターの見学及び修復工房でのご説明を受けた。

6. その他

1) 次回までに

- ・システム班(池田氏、阿部氏、佐藤氏)は Moodle 機能の確認を継続する。
- ・他メンバーは基礎編(基礎コース)の問題を探す,作る。(ノルマなし)

2) 次回例会

2007年5月15日(火)。会場は駒澤大学を予定。

以上